

事業所名 グループホームいやしの家 富田町
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成19年 3月29日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A: 現職 障害者自立支援調査員
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員
B: 現職 デイサービスセンター管理者
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法士
C: 現職 理学療法士
資格・経験 理学療法士、介護支援専門員、ガイドヘルパー講師(3年)

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります！)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>家庭的な雰囲気の中で、「生活のパートナー」として暮らす事のできる場所作りを目指し、「穏やかで安らぎのある暮らしを・・・」をスローガンにしている。</p> <p>生き甲斐と潤いのある生活を送っていただける介護を目指しており、「いやしの家」と命名されている由縁でもある。</p> <p>法人全体の基本理念として、基本的人権の保護・家庭的な生活・生き甲斐のある生活の3点が掲げられている。</p> <p>今年度目標をユニット毎に掲げている。</p> <p>(2階)「明るく元気でほがらかに」 (3階)「明るい笑顔で」 (4階)「自尊心を尊重し、穏やかな心と笑顔で対応し、生き生きとした生活を支える介護を実行する」</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居る空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>タバコの喫煙者には喫煙場所を決め、安心してゆったり寛げるスペースを提供している。</p> <p>入居者に強い刺激を与えないよう、職員は「走らない」「声かけは静かに」を心がけている。</p> <p>趣味・文化活動(ワープロ・小説・縮み物等々)においても、入居者が自由な気分で行ける環境作りを力を入れている。</p> <p>家事作業では日常生活にメリハリをつけ、無理がないような行事や日課を取り入れ、楽しく過ごしてもらうように努めている。</p> <p>人生の心の拠りどころである信仰を持っている入居者には、教会へ通える支援も行っている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

岡山駅より徒歩15分の距離の所にあり、遠方からの面会には好都合な都市型グループホームである。市の中心地でありながらも近くの西川沿いに緑道公園があり、季節の移り変わりを味わう事もできる。

四階建てビルの1階は駐車場、2・3・4階で3ユニットが運営されており、リビングからの窓越しに見える大きな空、差し込む光に心が和み、ビルの合間を走る新幹線や跨線橋を行き交う車の流れが返って眺めみの景色ともなり、また、夜景の美しさは格別である。

入居者自身のできる事を見極め、家事はもちろんワープロで文書や新聞作りに協力してもらっている事例もある。人生の経験が活かされ、入居者は表情も生き生きとしており、日々のコミュニケーションでは職員も笑顔が絶えず、穏やかに接している。

ホーム内は清潔で掃除が行き届いており、トイレ・物品倉庫など見えない箇所も整理整頓されている。

協力医との連携体制が整っており、普段の健康管理から緊急時の対応には近隣医院や大病院との安心ネットワークを構築している。

特に改善の余地があると思われる点(記述)
年々改正されている国の施策や情報には敏感に耳を傾けて情報を収集し、職員全体でその内容の共有を図り、地域密着型ホームの実現に向けてより一層励まされることを期待する。

ヒヤリハット・感染症・日々の気付きなど、申し送りノートに記載して職員の確認印もあり、運達は徹底されている。それぞれの分野でもファイリングをして残し、再度振り返って閲覧を要する場面や、勉強会・ミーティング等にいつでも活用できるように整備されれば、より職員の資質向上に繋がっていくものと思われる。

身体拘束・緊急時等のマニュアルの保管場所を全職員で共有して認識できれば、より迅速かつ的確な対応ができると思う。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関・入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>住職だった入居者に対して説法を説く場を設ける等、本人の記憶に残る過去の経験を暮らしの中に活かしていけるよう支援している。</p> <p>入居者の過去や大切な事項はプライバシーに立ち入る事でもあり、ケア方針に活かす目的を十分家族に説明し、プライバシーへの配慮を忘れず支援している。</p> <p>個人情報に関するファイルは、すべて事務所の鍵のかかる場所へ保管しており、閲覧後の書類等はシュレッダーで処理している。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>緊急時の対応や応急処置の方法の研修会を実施し、その報告と学習会を月1回設けている。</p> <p>月1回、ユニット毎に定期的に介護技術の勉強会・研修会を開き、サービスの質の向上に備えている。</p> <p>市中心地にあるホームの立地条件を踏まえ、避難訓練を年2回実施している。</p> <p>苦情受付窓口と責任者の電話番号や連絡方法を文書で明示し、相談・苦情を気軽に言ってもらえるように働きかけている。</p> <p>ホーム内の清潔や衛生管理に力を入れ、物品収納や水まわりの整理整頓を心がけている。</p>		